



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社 成学社

上場取引所 東

コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤田 正人

TEL 06-6373-1595

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,645	4.4	226		245		215	
2019年3月期第2四半期	5,407	7.0	114		65		31	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 218百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 30百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	38.92	
2019年3月期第2四半期	5.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,202	2,421	29.5
2019年3月期	8,858	2,669	30.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,421百万円 2019年3月期 2,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.35		5.35	10.70
2020年3月期		5.50			
2020年3月期(予想)				5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,641	6.3	223	41.9	189	72.2	13	96.5	2.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	5,876,000 株	2019年3月期	5,876,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	350,260 株	2019年3月期	350,260 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	5,525,740 株	2019年3月期2Q	5,525,740 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」等を運営し、幅広い教育および保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,645,865千円（前年同期比4.4%増）、営業損失は226,619千円（前年同期は営業損失114,133千円）、経常損失は245,437千円（前年同期は経常利益65,037千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は215,083千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益31,244千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①教育関連事業

グループ在籍者数（注1）について

部門	2018年9月末	2019年9月末	増減率
個別指導部門	16,778人	17,105人	+1.9%
クラス指導部門	7,981人	7,471人	△6.4%
保育部門	487人	649人	+33.3%
その他の指導部門	101人	164人	+62.4%
合計	25,347人	25,389人	+0.2%

（注1）当社グループが運営する学習塾等に通う者に限り、フランチャイズ教室への通塾生は含んでおりません。

個別指導部門は、主力ブランド「個別指導学院フリーステップ」の特長である「点数アップと大学受験に強いフリーステップ」の継続的なアピールによる集客力の強化が奏功し、塾生数は増加いたしました。

クラス指導部門は、小学校プログラミング教育の全面実施にむけて、ビジュアルプログラミングを学ぶ「プロスタキッズ」の導入等により、新たな顧客層を取り込んでおります。

保育部門は、運営する保育所が増加したことに伴い園児数も増加いたしました。

その他の指導部門は、「開成アカデミー日本語学校」が日本語教育機関の適正校として認定されたことにより受入れ可能な外国人留学生の定員が増加し、学生数は増加いたしました。

教室展開について

部門	前期末	増加	減少	当期9月末
個別指導部門	207	3	0	210
クラス指導部門	100	1	0	101
保育部門	15	2	0	17
その他の指導部門	4	0	0	4
直営教場数	265	6	0	271
フランチャイズ教室数	35	1	0	36

（注）複数の部門を開講している教室があるため、各部門の合計と直営教場数は一致いたしません。

当第2四半期連結累計期間において、直営教室4教室（大阪府2教室、兵庫県2教室）、かいせい保育園1園（大阪府）、アイテラス保育園1園（兵庫県）およびフランチャイズ教室1教室（兵庫県）を新規開校しております。

## 損益について

グループ在籍者数の増加、塾生1人当たりの単価が上昇したことにより、セグメント売上高は5,578,461千円（前年同期比4.4%増）となりました。損益面では、事業拡大に伴う人件費の増加、塾生募集の広告強化による費用の増加、家賃・電気代の削減プロジェクトによる一時的な費用の発生、韓国での事業開始にむけた費用負担の増加により、セグメント損失（営業損失）は194,962千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）82,622千円）となりました。

### ②不動産賃貸事業

所有不動産の余剰スペース（賃貸スペース）およびテナントの入居状況に大きな変動はなく、売上高は18,811千円（前年同期比3.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は15,573千円（前年同期比9.4%増）となりました。

### ③飲食事業

個人消費の伸び悩みに加え、大型連休や天候不良の影響等により厳しい店舗運営状況が続いております。売上高は48,593千円（前年同期比3.0%増）となったものの、増加したコストを吸収できず、セグメント損失（営業損失）は13,082千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）12,390千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から655,791千円（7.4%）減少し、8,202,431千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から657,959千円（20.3%）減少し、2,589,992千円となりました。これは主としてその他に含まれる未収入金が前連結会計年度に比べ277,681千円、営業未収入金が同199,048千円、現金及び預金が同177,157千円減少したことによりです。固定資産は、前連結会計年度末から2,167千円（0.0%）増加し、5,612,438千円となりました。これは主として有形固定資産が前連結会計年度に比べ68,661千円減少し、無形固定資産が前連結会計年度末から16,342千円、投資その他の資産が同54,486千円増加したことによりです。

負債は前連結会計年度末から407,675千円（6.6%）減少し、5,781,068千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から777,166千円（21.6%）減少し、2,828,947千円となりました。これは主として前受金が前連結会計年度に比べ202,993千円増加し、その他に含まれる未払金が前連結会計年度に比べ520,127千円、短期借入金と同253,332千円、未払法人税等と同157,304千円、買掛金が同112,782千円減少したことによりです。固定負債は、前連結会計年度末から369,490千円（14.3%）増加し、2,952,121千円となりました。これは主として長期借入金が前連結会計年度に比べ377,630千円増加したことによりです。

純資産合計は、前連結会計年度末から248,116千円（9.3%）減少し、2,421,362千円となりました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度に比べ244,646千円減少したことによりです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,100,303千円となり、前連結会計年度末に比べ、219,164千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、248,805千円（前年同期は123,822千円の収入）となりました。これは主に、売上債権の減少額217,259千円、前受金の増加額203,573千円、減価償却費180,277千円が計上されたものの、未払金の減少額310,084千円、税金等調整前四半期純損失259,256千円、法人税等の支払額163,780千円、仕入債務の減少額118,778千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、72,023千円（前年同期比187,759千円の支出減）となりました。これは主に、補助金の受取額279,494千円が計上されたものの、有形固定資産の取得による支出299,301千円、定期預金の預入による支出42,006千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、103,866千円（前年同期比120,696千円の収入減）となりました。これは主に長期借入れによる収入758,250千円が計上されたものの、長期借入金の返済による支出358,805千円、短期借入金の純減少額253,332千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表（2019年5月15日）の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,514,622	1,337,465
営業未収入金	1,040,131	841,083
商品	80,879	57,658
仕掛品	-	4,202
貯蔵品	17,042	21,774
その他	613,532	345,968
貸倒引当金	△18,257	△18,159
流動資産合計	3,247,951	2,589,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,220,747	4,235,143
減価償却累計額	△1,379,458	△1,471,804
建物及び構築物 (純額)	2,841,288	2,763,339
土地	1,107,772	1,107,772
その他	1,017,499	1,072,410
減価償却累計額	△706,589	△752,211
その他 (純額)	310,910	320,198
有形固定資産合計	4,259,971	4,191,310
無形固定資産		
のれん	1,353	23,062
その他	118,709	113,342
無形固定資産合計	120,062	136,405
投資その他の資産		
差入保証金	917,948	935,718
その他	312,288	349,004
投資その他の資産合計	1,230,236	1,284,723
固定資産合計	5,610,271	5,612,438
資産合計	8,858,222	8,202,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	198,664	85,881
短期借入金	596,668	343,336
1年内返済予定の長期借入金	582,079	652,271
未払法人税等	206,900	49,596
前受金	733,509	936,503
賞与引当金	129,037	170,088
その他	1,159,252	591,269
流動負債合計	3,606,113	2,828,947
固定負債		
長期借入金	1,996,678	2,374,308
退職給付に係る負債	5,890	5,872
資産除去債務	465,729	464,662
その他	114,331	107,277
固定負債合計	2,582,631	2,952,121
負債合計	6,188,744	5,781,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,108	235,108
資本剰余金	175,108	175,108
利益剰余金	2,543,961	2,299,314
自己株式	△288,452	△288,452
株主資本合計	2,665,725	2,421,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,026	2,795
為替換算調整勘定	△273	△2,511
その他の包括利益累計額合計	3,753	283
純資産合計	2,669,478	2,421,362
負債純資産合計	8,858,222	8,202,431

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,407,881	5,645,865
売上原価	4,652,104	4,904,445
売上総利益	755,776	741,420
販売費及び一般管理費	869,910	968,039
営業損失(△)	△114,133	△226,619
営業外収益		
受取利息	825	404
受取配当金	401	407
補助金収入	155,197	580
その他	36,137	2,932
営業外収益合計	192,562	4,324
営業外費用		
支払利息	12,806	15,022
固定資産除却損	-	3,555
その他	585	4,564
営業外費用合計	13,392	23,143
経常利益又は経常損失(△)	65,037	△245,437
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	1,378	-
事業譲渡益	5,500	-
特別利益合計	6,878	-
特別損失		
減損損失	-	13,819
特別損失合計	-	13,819
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	71,915	△259,256
法人税、住民税及び事業税	45,663	11,560
法人税等調整額	△4,992	△55,733
法人税等合計	40,671	△44,172
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,244	△215,083
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	31,244	△215,083

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,244	△215,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	510	△1,231
為替換算調整勘定	△1,261	△2,238
その他の包括利益合計	△750	△3,469
四半期包括利益	30,493	△218,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,493	△218,553
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	71,915	△259,256
減価償却費	166,187	180,277
減損損失	-	13,819
のれん償却額	2,060	1,958
長期前払費用償却額	4,851	4,956
貸倒引当金の増減額(△は減少)	622	△118
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,237	41,050
保険返戻金	△27,226	-
支払利息	12,806	15,022
補助金収入	△155,197	△580
売上債権の増減額(△は増加)	194,713	217,259
たな卸資産の増減額(△は増加)	785	17,518
前渡金の増減額(△は増加)	△10,778	△14,656
仕入債務の増減額(△は減少)	△98,313	△118,778
未払金の増減額(△は減少)	△217,345	△310,084
前受金の増減額(△は減少)	186,981	203,573
未払費用の増減額(△は減少)	△35,239	△32,959
未払消費税等の増減額(△は減少)	47,926	△35,535
その他	△36,870	3,150
小計	139,115	△73,382
利息及び配当金の受取額	503	157
利息の支払額	△12,675	△14,816
法人税等の支払額	△12,599	△163,780
法人税等の還付額	9,478	3,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,822	△248,805
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△14,505	△42,006
保険解約による収入	74,074	-
有形固定資産の取得による支出	△629,696	△299,301
無形固定資産の取得による支出	△26,019	△15,655
補助金の受取額	338,298	279,494
資産除去債務の履行による支出	△3,153	△1,069
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	22,531
差入保証金の差入による支出	△19,650	△29,302
その他の支出	△2,065	-
その他の収入	22,933	13,285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,783	△72,023

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△263,668	△253,332
長期借入れによる収入	800,000	758,250
長期借入金の返済による支出	△275,109	△358,805
配当金の支払額	△28,728	△29,404
その他の支出	△7,931	△12,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	224,563	103,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,889	△2,201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	86,712	△219,164
現金及び現金同等物の期首残高	882,402	1,319,467
現金及び現金同等物の四半期末残高	969,114	1,100,303

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	5,342,566	18,137	47,177	5,407,881	—	5,407,881
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,160	—	13,160	△13,160	—
計	5,342,566	31,297	47,177	5,421,041	△13,160	5,407,881
セグメント利益又は 損失(△)	△82,622	14,232	△12,390	△80,780	△33,352	△114,133

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△33,352千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用33,352千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	5,578,461	18,811	48,593	5,645,865	—	5,645,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,748	—	13,748	△13,748	—
計	5,578,461	32,559	48,593	5,659,614	△13,748	5,645,865
セグメント利益又は 損失(△)	△194,962	15,573	△13,082	△192,470	△34,149	△226,619

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△34,149千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用34,149千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において13,819千円であります。